

日本に新たな血統  
を導入!

# シンガポール動物園から インドライオンが来園しました!

平成 29 年 5 月 31 日 (水) にシンガポール動物園からよこはま動物園ズーラシアへ、インドライオンのバドゥリ (オス・6 歳) が来園しました。今後は、展示に向けて準備をしていきます。

インドライオンは絶滅が危惧されており、当園では開園当初より飼育し、これまで 3 回の繁殖に成功しています。今後も世界の動物園と連携し、インドライオンの種の保存に貢献していきます。



今回来園したバドゥリ (オス)

## インドライオンの血統についてのズーラシアの役割

現在、日本国内では 3 園で計 7 頭のインドライオンを飼育していますが、個体の高齢化が進み新規個体の導入が急務となっています。また、インドライオンはインドのギル森林保護区にのみ生息しているため、遺伝的多様性を維持し個体数を増加させるためにも、世界の動物園で飼育繁殖をしていく必要があります。今回、国外から新たな血統を導入し、繁殖に取り組むことは国内外でインドライオンの血統の多様性を維持する事において、非常に重要な意味があります。

【参考資料】

■今回来園した個体について

バドゥリ	平成 23 年 3 月 21 日 シンガポール動物園生まれ 平成 29 年 5 月 31 日 同園より来園
------	--

■インドライオンについて

英 名	Asian Lion
学 名	<i>Panthera leo persica</i>
分 類	食肉目 ネコ科
分 布	インド北西部
生 態	インド北西部ギルの森林保護区とその周辺にのみ生息。主に林の中に棲み、単独で狩りをする。食性は昆虫類から爬虫類、大型草食動物まで様々。生息地である森林の減少、毛皮などを目的とした密猟により生息数が激減し、実質的総個体数は成熟個体が 600 頭未満と考えられている。飼育下での寿命は 20 年の記録があるが、平均すると 16~18 年程度で、野生では 11 年程度ではないかと考えられている。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 IB 類 (EN) 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
国内飼育園館	3 園館 7 頭 (オス 2 頭 メス 5 頭) ※平成 29 年 4 月 1 日現在
当園飼育頭数	4 頭 (オス 1 頭 メス 3 頭) ※今回来園した個体を含む

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入 園 料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料  
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）  
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート（18 歳以上）2,000 円
- ◆開園時間：9:30~16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休 園 日：毎週火曜日（祝日の場合は開園し、翌日休園）※10 月は無休
- ◆交 通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆U R L：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住 所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000